

7	<p>ノーマライゼーションとは、障害等の有無に関わらず、すべての人に普通の生活をするを保障しようとする理念をいう。</p> <p>ノーマライゼーションの理念は、当初、デンマークの知的障害者運動の中でスタートしたが、その後、身体障害者や精神障害者などの障害者福祉全体の運動に広がり、さらに高齢者福祉などの領域でも用いられるようになって、今日では、すべての福祉分野に共通する基本理念となっている。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	<p>ソーシャル・インクルージョンとは、社会的に排除・差別されやすい人を社会の中に取り込んでいこうという理念をいう。</p> <p>1980年代から1990年代にかけてヨーロッパで普及してきた理念であり、「社会的包括」あるいは「社会的包摂」などと訳される。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
9	<p>QOL(生活の質)は、援助者側からの視点であるADL(日常生活動作)重視の援助に対する批判として広がった理念であり、個人の生活に関する主観的な満足感、達成感などを意味する。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
10	<p>世界保健機関(WHO)は、1980年の国際障害分類(ICIDH)では、障害を「機能障害」「能力低下」「社会的不利」の3つの枠組みで示したが、それを改めた2001年以降の国際生活機能分類(ICF)では、生活機能と障害を「心身機能・身体構造」「活動」「参加」の3つの次元で捉えるとともに、「環境因子」「個人因子」といった「背景因子」との相互作用に着目している。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
11	<p>バリアフリーが、障害のある人が生活するうえでの障壁を除去することをめざす考え方であるのに対して、ユニバーサルデザインは、初めからすべての人が、障害の有無や年齢に関わらず利用できること、すべての人にとって使いやすい製品、環境、情報づくりを行うことをめざす考え方である。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
12	<p>アドボカシーとは、意思表示が困難な利用者等に代わって、援助者が権利や日常生活のニーズを主張することをいい、代弁、権利擁護などと訳される。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
13	<p>アカウントビリティとは、福祉サービスなどの公共性の高い事業について、利用者、住民などに対して、事業内容等について説明する責任をいう。</p>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>